

刊行のことば

山形県埋蔵文化財センターは平成5年4月に財団法人として設立され、平成24年4月に公益財団法人として新たな一步を踏み出しました。

設立以来、東北横断自動車道、東北中央自動車道等の高速道路をはじめとする道路建設や圃場整備等の開発事業に伴い、緊急発掘調査を数多く実施してまいりました。

また、調査の成果を県民の皆様幅広く御紹介すべく、調査速報会をはじめ、センター参観デー、ふるさと考古学講座や小中学校に赴いての出前授業等に取り組んでおります。

平成24年9月には舟形町西ノ前遺跡出土の土偶「縄文の女神」が国宝に指定され、県内外の高い関心を集めました。その優美な姿に、多くの方がはるかな時を超えて先人のくらしに思いをはせたことでしょう。我々も埋蔵文化財が与えてくれる大きな活力を改めて感じた次第です。

振り返りますと、この度設立20周年を迎えることが出来たのもひとえに関係各位、県民の皆様にあたたかい御支援、御協力の賜物と心より感謝を申し上げます。

日頃の研鑽を御覧いただきたく、この節目に『研究紀要』第6号を上梓いたしました。

東日本大震災以降、東北のみならず日本の各地で地域の歴史、そして未来が見つめ直されています。埋蔵文化財が共有の財産として皆様の生活に活かされ、益々親しまれることを願い、本書がその一助になれば幸いに存じます。

平成26年3月

公益財団法人山形県埋蔵文化財センター

理事長 菅野 滋

題字

木村 宰（平成 14 年度 財団法人山形県埋蔵文化財センター 理事長）